

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	五霞町			代表者名	古郡健司
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	まちづくり戦略課	連絡先電話番号	0280-84-1111
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	矢島征幸	連絡先E-mail	
住所	306-0392 茨城県五霞町小福田1162-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	EBPM推進事業
概要	町DX推進計画の強化取組事項5に掲げる「EBPMの推進」をするにあたり、職員研修を実施するために専門的知識をもっている地域情報化アドバイザーの支援を受け、職員の意識及びスキルの向上、業務の質を上げることを目的に実施します。		
支援を求める分野	EBPM（エビデンスに基づく政策立案）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	856	令和8年2月18日	講演	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和8年2月4日	講演(オンライン)	14時00分	16時00分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。


アドバイザー	森 康通
評価	大変良い
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	令和8年2月18日EBPM研修「EBPM思考からはじめるデータ活用実践講座」の開催し、五霞町役場の課長補佐、主幹、係長の19名を対象に初級レベルのスキルアップを図りました。EBPMについて内容も含め理解している人が21%と少ない中での研修でしたが、講義資料が分かりやすかった、概ね分かりやすかった方が100%であり、講義の内容が理解できた、やや理解できたは77%で、研修した結果、有益であった、やや有益であったは89%と高い数字でした。今後、EBPMを意識して業務に取り組めるかについては、できる、ややできるは100%でした。これらのことから今回の研修評価が大変良い結果になりました。
アドバイザーへの要望事項	EBPM研修は、知識及び経験が少ない課長補佐・主幹・係長で行いますが、EBPMへの取組みの動機づけを意識していただきました。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	19人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	19	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	事業の課題は、EBPM管理職の知識及びスキル不足、研修機会の不足、成果検証の仕組み不足、人材育成と業務負担の両立が困難です。また、本町は小規模自治体であり職員数が限られており、一人が担当する業務が複数ありEBPMを生かした政策立案ができないことが問題点となっています。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	今回の支援では、EBPM研修の対象者が今後、EBPMを意識して業務に取り組めるようになる動機づけすることを成果として考えていました。その結果、できる、ややできるは100%の回答でした。この後、実際に取り組んでいるかの進捗を追いかけたいと考えています。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	EBPMとは何かをデジタルに詳しくない方にも分かるような内容で、オンラインでの講義を実施しました。 1) EBPMとは 2) 施策の設計図ロジックモデル 3) エビデンスって本当に必要? 4) EBPM思考 5) データ至上主義って大丈夫? 6) データ活用を始めよう 7) データ活用を始めるための3ステップ 8) なぜデータを活用するのか? 9) どんなデータが使えるのか? 10) そもそも、庁内には多くのデータがあるはず 11) なにから始めれば良いのか?	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本町では、地域経済分析システム (RESAS: リーサス) や政府統計の総合窓口 (e-Stat) を知らない人が多く、実際に使えていない状況でしたが、今回の研修で知っていただき、実際に操作して頂いてもらい、動機づけにつながりました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 研修後のアンケート結果 (回答率100%) を添付します。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は動機づけとして実施し、令和8年度は試しにデータを使ってEBPMを体感していただき、令和9年度は具体的なEBPMでの政策立案を行いたいと考えています。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修後のアンケート結果 (回答率100%) を添付します。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 令和8年度は試しにデータを使ってEBPMを体感していただく研修、令和9年度は具体的なEBPMでの政策立案を行う研修を予定しています。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	全ての職員が、日々、EBPM、データ活用を意識するようになっていきたいと思います。その結果が、各施策の住民の満足度アップにつながると考えています。	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 掲載許可 <input type="checkbox"/> 掲載可 <input checked="" type="checkbox"/>		
https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/		
<p style="text-align: center; color: red;">なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		